

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			1..1	Coding		
n.1.1			system		1..1	uri	“http:// jpfhir.jp/fhir/eDischargeSummary/ CodeSystem/ eDischargeSummary”	文書カテゴリコードのコード体系を識別する URI。固定値。
n.1.2			code		1..1	code	“00”	文書カテゴリコード。 ”00:退院時サマリー”
n.1.3			display		0..1	string	“退院時サマリー”	コードの表示名

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。

多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 1..1	CodeableConcept	“http:// jpfhir.jp/fhir/ eDischargeSummary /CodeSystem/ eDischargeSummary” “00”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	--	----

表 Encounter リソース 入院詳細情報

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
resourceType						“Encounter”	Encounter リソースであることを示す
identifier				0..1	Identifier		この医療機関における入院管理番号
	system			1..1		"urn:oid:…"	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
	value			1..1		"2020-10-002933"	入院管理番号の文字列。値は例示。
status				1..1	code	“finished”	この情報のステータス EncounterStatus(http://hl7.org/fhir/ValueSet/encounter-status)より“finished”を指定する。固定値。
class				1..1	Coding		受診イベントの分類
	system			1..1	uri	“ http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-ActCode ”	コード体系 v3.ActEncounterCode を識別する URI。固定値。
	code			1..1	code	“IMP”	「IMP:入院(impatient)」固定。本文書は退院時サマリーを対象としている。救急入院の場合も区別しない。
	display			1..1	string	“入院”	固定値。
classHistory				0..*			この入院期間までの外来受診履歴や入院履歴を記述したい場合にここに繰り返しで記述する

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	class			1..1	Coding		受診イベントの分類
		system		1..1	uri	“http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-ActCode”	コード体系 v3.ActEncounterCode を識別する URI。固定値。
		code		1..1		“IMP”または“AMB”	「IMP:入院(impatient)」 「AMB:外来(ambulatory)」
		display		1..1		“入院”または“外来”	
	period			1..1			
		start		1..1	dateTime	“2020-08-21”	上記イベントの開始日時
		end		0..1	dateTime	“2020-08-24”	上記イベントの終了日時。入院の場合には退院日、外来受診の場合には不要。
period				1..1	Priod		入院期間
	start			1..1	dateTime	“202-09-01”	この入院の入院日時
	end			1..1	dateTime	“2020-09-18”	この入院の退院日時
length				0..1	Duration		この入院の在院日数
	value			1..1	decimal	7	在院日数。値は例示。
	unit			1..1	string	“日”	在院日数の単位文字列。固定値。
	system			1..1	uri	“http://unitsofmeasure.org”	単位コード UCUM のコード体系を識別する URI。固定値。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	code			1..1	code	“d”	日を意味する単位コード「d」。固定値。
reasonCode				1..* 0..*	CodeableConcept	“urn:oid:1.2.392.200119.4.101.6” “B0EF” “持続腹痛”	入院時主訴・入院理由。 入院時主訴・入院理由がコードで記述できる場合にそのコード記述。system 値は MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードを使用する場合の例示。“B0EF”は、MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードで“持続腹痛”のコード。“持続腹痛”は、入院時主訴・入院理由のテキスト記述。
diagnosis				0..*			入院期間中の診断情報
	condition			1..1	Reference(Condition)		患者状態（病態・疾患名・症状）への参照
	use			0..1	CodeableConcept		診断の位置付け区分（DiagnosisRole）。これにより、入院時診断、退院時診断、などが区別される。入院中のすべての診断病名にこのコードが必須ではないが、少なくとも AD:入院時診断、DD:退院時診断、CC:主訴、についてはそれぞれ 1 個以上はこのコードがついている必要がある。
		coding		1..*			同じ診断名に複数の診断位置付けコードをつけることができる。
			system	1..1		“http://hl7.org/fhir/ValueSet/diagnosis-role”	診断位置付け ValueSet（FHIR 準拠の場合のコード表）

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
			code	1..1		"DD"	AD:入院時診断、DD:退院時診断、CC:主訴、CM:併存症診断、pre-op:術前診断、post-op:術後診断、billing:会計請求診断（FHIR 準拠の場合のコード表）。値は例示。
			display	1..1		"退院時診断"	コードに対する名称。値は例示。
	rank			0..1	positiveInt	1	同じ診断位置付け内での順序数値（1から順）。順序は医療者の意図によりつけてよい。値は例示。
hospitalization				1..1	BackboneElement		入退院詳細情報
	origin			0..1	Reference(Location Organization)		入院前の所在場所または施設への参照。
	admitSource			0..1 1..1	CodeableConcept	"http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/Admit-Source" "1"	入院経路を表すコード情報。値は暫定値。コード表は暫定（出典：厚労省DPC 導入影響評価調査） 0 院内の他病棟からの転棟 1 家庭からの入院 4 他の病院・診療所の病棟からの転院 5 介護施設・福祉施設に入所中 8 院内で出生 9 その他
	reAdmission			0..1	CodeableConcept		再入院の場合の再入院種類。 （仕様未定のため当面未使用）

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	specialC ourtesy			0..1	CodeableConcept		特別配慮を要する入院。VIP、職員、 医療専門職といった区分。 (仕様未定のため当面未使用)
	SpecialA rrangem ent			0..1	CodeableConcept		特別調整を要する入院。車椅子、増設 ベッド、通訳、付き添い、盲導犬等の 必要性。 (仕様未定のため当面未使用)
	destinati on			0..1	Reference(Location Organization)		退院先場所または施設への参照。
	discharg eDisposi tion			1..1	CodeableConcept	“http://jpfhir.jp/fhir/Cod eSystem/” “3”	退院時転帰コード情報。コード表は暫 定（出典：厚労省 DPC 導入影響評価 調査） 1 傷病が治癒・軽快 3:傷病（白血病、潰瘍性大腸炎、クロ ーン病等）が寛解 4:傷病が不変 5:傷病が増悪 6:傷病による死亡 7:傷病以外による死亡 9:その他（検査入院,正常分娩及び人間 ドック含む）
location				0..*	BackboneElement		入院中の所在場所（病棟病室など）
	location			0..1	Reference(Location)		入院中の所在場所（病棟病室など）へ の参照

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	status			1..1	code	“completed”	planned active reserved completed のいずれかであるが、退院時サマリー なので“completed”。
	physical Type			0..1 1..1	CodeableConcept	“http://terminology.hl7. org/CodeSystem/location-physical-type” “ro”	所在場所のタイプ。 bu: 建物 wa: 病棟 ro: 病室 bd: ベッド area: エリア など。
	period			0..1	Period		所在期間
		start		0..1	dateTime		所在期間の開始日時
		end		0..1	dateTime		所在期間の終了日時